

岐阜県の企業がタンザニアで自動車整備士育成

—自動車整備士育成で狙う中古自動車部品流通網の拡大—

国際協力機構(JICA)は8月1日、「中小企業・SDGs ビジネス支援事業～案件化調査(中小企業支援型)～」にセントパーツ株式会社(岐阜県羽島市、種谷謙一代表取締役)が提案し採択された「自動車整備事業の実績に基づく自動車整備士育成と整備工場網構築のための案件化調査」(タンザニア)の業務委託契約を締結しました。

タンザニアは年々中古自動車の輸入台数が拡大しており、そのほとんどが日本から輸入されています。しかしながら、未熟な整備技術や補修部品の入手の困難さが障壁となり、先進国で主流となっている環境性能の高いハイブリッド車や低燃費車は現地での販売価格が同等であるにも関わらず導入が進んでいません。今後ますます拡大する自動車保有台数に対し、輸入中古車を環境性能の高い車両へシフトさせていくことは環境配慮の視点から重要性を増すと考えられています。

セントパーツ株式会社は2015年からタンザニアにて日本からの中古自動車の部品販売と自動車整備事業を展開しています。今回の案件化調査を通して、タンザニアの公立職業教育訓練公団であるVETAと共に、現地で日本品質の自動車整備技術を持つ整備士を養成する事業計画を策定し、自動車整備士育成カリキュラムと訓練用の整備マニュアル教材の素案を作成する予定です。タンザニアでの第1回現地調査は8月20日(火)～9月8日(日)を予定しています。



現地の整備工場の様子

取材をご希望の場合は、下記宛にご連絡をお願いいたします。

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 中部 連携推進課 須田 〒453-0872 名古屋市中村区平池町 4-60-7
TEL : 052-533-1387 e-mail: Suda.Hiromi@jica.go.jp